

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年4月18日

事業所名 スパーク京都左京店

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		受け入れ児童に対し、同じ数の職員が訓練室に入るのを、安全面と特性に考慮しつつ空間を作っている。	
	2 職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされている配置数に加え、指導員を2名から3名多く配置。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用する子どもに合わせて、療育道具の数を調節する等、特性に配慮している。バリアフリー化に関しては玄関に段差があるが、サポートは行いつつ運動に繋がる様配慮している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃を毎日行う事と、消毒を季節、状況に合わせて頻度を調整しながら行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事業所目標と、個人目標を設定し、定期的に管理者による面談等を踏まえ振り返るようにしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回の保護者アンケートを基に意向を把握し、改善できる点は改善していく。すぐに取り掛かる事が難しい場合は会議を重ね、業務改善の方法を話し合う。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所内に自己評価と保護者向け評価を掲示すると共に、ホームページに掲載していく。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在第三者による評価は行っていないが、今後必要に応じて外部評価も検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		自事業所による研修を定期的に行う事と、スパーク協会本部による研修も最低でも年3回は行っている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者へは聞き取りの際にニーズや課題を共有し、子どもは体験時、療育時にアセスメントを行い、支援計画の作成を行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		標準化されたアセスメントツールではなく、スパーク協会本部作成のアセスメントを使用している。必要に応じて標準化されているツールの使用を検討する。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		家族への聞き取りは行っているが、園や地域センターへの聞き取りは行っていない。また、聞き取り内容を参考に支援計画を作成しているが、項目を分ける事は行っていない。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々の療育計画を作成するうえで、支援計画を必ず確認するようにしている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		指導員を担当制にしていなくて、支援計画を基に各々の意見を参考に、プログラムを作成している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの興味に寄り添い、特性に配慮し、過度な負荷がかからないように少しずつ変化をつけている。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		子どもの特性に合わせて、個別活動が必要な際は個別療育を行う。また、集団になった際も組み合わせに配慮していく。		

17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		療育前にその日の療育に入る職員間で療育計画を必ず確認し、打ち合わせを行っている。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日の記録とは別で、振り返りシートを用いて、一人一人の療育内容を振り返っている。	
19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		サービス提供記録に記録をとっている。また、別紙にて振り返りシートを記録している。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		少なくとも6ヶ月に一度はモニタリングを行い、必要に応じて支援計画の見直しを行っている。	